

Ⅱ 拠点館事業

平成 30 年度 市直営事業実績

1 地域づくり支援

地域の多様な活動を担う人材育成や地域の諸団体と関係機関とのコーディネート、地域情報の収集・提供などを行うことにより、市民自らが地域課題に向き合い住み良いまちづくりにとらもに取り組むことができるようにする。

(1) 若者社会参画型学習推進事業

地域課題の解決や復興まちづくりの担い手である若者の「自分づくり」を社会教育的なアプローチを生かして支援すると共に、若者の学びの成果を生かした地域づくり活動等への参画を促進することにより、さまざまな人々と協働しながら身近な地域をより良くすることへの関心を高め、社会・地域の一員として自発的・主体的に行動できる人づくりを推進する。

なお、平成 22 年度から 24 年度は「若者によるまちづくり実践塾」という事業名で各区中央市民センターにおいて実施した。平成 25 年度からは、事業名を変更して新たに各区中央市民センターで実施している。

【各区中央市民センターにおける受講者数等一覧】

区	受講者数(団体数)	受講者延人数	イベント参加者数	受講者内訳
青葉区	18	130	269	高校生・大学生
宮城野区	12	76	(実施せず)	高校生・大学生・社会人
若林区	40	157	738	大学生・社会人等
太白区	7(団体)	119	259	大学生・社会人
泉区	17	162	771	大学生・社会人

① 若者によるまちづくり実践塾

<青葉区中央市民センター>

市民センターを拠点に活動し、若者が地域に関わるきっかけや地域について考えるための手立てとして、巨大壁画制作を行った。成果物の巨大壁画は、青葉区中央市民センター入口に掲示し、多くの若者が地域活性化に参画できることをPRしながら、市民にも若者事業の取組を発信した。

また、市民センターまつりや青葉区民まつりにおいて、若者の自主企画を実施したり、まつりの運営ボランティアとして活動したりした。若者自身が、地域に関わるイベントに参加することを通して、地域社会へ参画することのおもしろさ、やりがい、充実感を味わうことができた。同世代での協働的な学びを経験したことで、参加者一人一人が、地域をよりよくすることへの意識が高まり、主体性が身に付いた。

② まいぷろ・Miyagino for Young PROgram

<宮城野区中央市民センター>

平成 30 年度は「地域貢献」「かべしんぶん」というキーワードを用い、若者が取り組みや

すく、かつ地域の「魅力」や「動き」に気づき、新たな活動を生み出そうとする意欲を高めるように工夫しながら、「八幡商店街・原町商店街」「仙台うみの杜水族館」を題材とした「かべしんぶん」制作を行った。事業全般にわたり、仙台市市民活動サポートセンターと連携した。

制作過程で、作成技量の向上とともに、読者にわかりやすく伝えたい、掲出先の要望に応えた完成度の高いものにしたいという思いが強くなり、そのことが成果物の出来栄にも表れた。取材時に「人の思い」を強調して取り上げた。また、活動を通じて、参加者の将来への進路への考えも広がった。

制作した「かべしんぶん」は八幡商店街、原町商店街、仙台うみの杜水族館をはじめ、尚綱学院高校、尚綱学院大学、仙台市市民活動サポートセンターなどにも掲出した。

③ 仙白園プロジェクト・人

<若林区中央市民センター>

講座名は若林区中央市民センターが養種園（実験農場の役割を担い、仙台白菜を誕生させた）跡地に立地していることに由来。平成 30 年度は「畑作業」、「ボランティア」などを中心に活動を展開した。「畑作業」では、地域住民メンバーとの作業や調理実習などを実施し交流を深めた。また畑の収穫物（じゃがいも、枝豆、白菜）を活用し、夏の交流会、冬の収穫祭（クリスマス会）を企画・運営した。今年度事業の実施を通して、自分たちで新たな取り組みを考えたいという意識を持つ学生が参加してくれたこと、ジュニアリーダーOB・OGの参加により、地元の若者の活躍の場にもなりつつあることなどの成果が得られた。また、畑作業や調理実習、イベント運営を通じた地域住民参加者との異年齢交流により、新しい気づきや学びがあったこと、さらに、自主的にイベントの企画・準備・運営を行う経験を通して、次の活動に向けて意欲を高めることができたことから、若者の主体性を引き出しながら今後の事業の展開につなげていきたい。

④ 仙台学生サークルネットワーク事業「つながりんぐ」

<太白区中央市民センター>

地域や地区市民センターから「学生と連絡を取りたいがどうしたらいいかわからない」、また、学生からは「社会貢献したいが窓口がわからない」等の意見をうけて、本事業を平成 26 年に立ち上げ、活動する学生のネットワークを「つながりんぐ」と名付けて活動をスタートした。若者の社会参画をねらいとした活動の受け皿となるネットワークを構築するために、大学等でPR活動を行ったりした結果、平成 30 年度は 7 団体のサークルが参加した。主な活動内容は、①長町交流フェスタでのイベントの企画・運営（お化け屋敷）②所属する学生サークルを紹介した情報誌の作成とした。完成した情報誌は、仙台市内の小中学校や地区市民センター、区役所、町内会、NPO法人、地元企業等に配布した。

成果としては、定例会やイベント企画を通して各サークルが互いの活動を知ることになり、より親密な交流を生み出すことができたこと、活動の受け皿となるネットワークが構築されたこと、情報誌の作成により学生サークルの活動支援ができたこと、があげられる。今後は、地域住民との交流をねらいとした新たなイベント等を企画・運営し、若者の社会

参画をさらに推進していきたい。

⑤ ICP Izumi Community Project

＜泉区中央市民センター＞

泉区内に通学している大学生を中心とした受講生が地域の現状や課題について考え、学生の自由な発想で地域創造に向けて取り組みたいことを企画し、実施する講座である。

6月に、地域のイベントである「根白石おもしろ市」に出かけ、地域住民と直接話をし体験したことで地域の魅力を発見した。そこに泉区の活性化という視点を重ね、活動方針を『泉区を知って、知ってもらい、体験して泉区ブランド化』とし、史跡（光明の滝、亀の子石）や施設（根白石小学校、庄司牧場、泉岳自然ふれあい館）などを巡った。そこで出会った人の「泉区西部に人が来てほしい」という思いを受け、受講生の手で泉西部地区の魅力を発信するパネルを制作することが決定した。泉ヶ岳に向かう道沿いのカフェを取材して素材を集め、完成したパネルは、泉岳ふれあい館、スプリングバレー泉高原スキー場、仙台ロイヤルパークホテルなど商業施設に展示し配布用のチラシを設置した。

その他にも、泉西部地区や泉ヶ岳の魅力を発信することを目的に、聖和学園短期大学文化祭でICPのブースを出店し、根白石地区の食材を使用した「ねぎ煮」を振る舞うことや、泉区内の小学生とその保護者を対象に「親子雪山体験」を企画実施した。受講生は前年度までの学習活動や自主企画事業実施の経験を生かしながら、新たな事業を企画・実施することで、泉区やまちづくりへの関心をさらに高め受講者自身の学びを深めることができた。

⑥ 「若者社会参画型学習推進事業」にかかる支援及び成果報告会

＜生涯学習支援センター＞

各区中央市民センターで実施している本事業の受講者や担当者を対象に、情報交換会や交流会、成果報告会を実施し、各区中央市民センターの事業内容の再確認・見直しの機会を提供すると共に、受講者の参加意識の向上を図った。併せて、市民センターにおける本事業の普及・推進を図るために区中央市民センターが実践している本事業の成果と課題から、重要なエッセンス及びノウハウを抽出して地区市民センターにフィードバックすること、及び区中央市民センターの事業が円滑に進むように後方支援を行った。

(ア) 啓発事業（参加者：各区中央市民センター若者事業担当者）

大学において各区中央市民センターの事業担当者から学生に対して、若者参画型の事業企画、実施内容のPRを行った。若者参画型事業に対する学生の率直な意見を聴く機会にもなった。

大学名	日時	大学名	日時
仙台白百合女子大学	5.7(月)13:00～13:40	東北福祉大学	6.7(木)16:05～16:20
尚綱学院大学	5.8(火)12:50～14:20	東北工業大学	6.18(月)10:30～11:00
東北学院大学	5.10(木)10:50～12:20	聖和学園短期大学	7.5(木)13:55～14:10
宮城教育大学	5.15(火)16:20～17:50		7.26(木)9:50～10:20
東北大学	6.6(水)10:30～11:00		

(イ) 方向性を確認する会 【助言者】水谷修 氏（東北学院大学 教授）

(H30. 4. 17(火) 14:00～16:30 参加者：各区中央市民センター若者事業担当者等 19 名)
生涯学習支援センター・各区中央市民センターの事業担当者を対象に、年度初めに際して、実施計画をもとに意見交換や助言者からのアドバイスを得る機会を設定することで、事業内容をブラッシュアップするとともに、効果的な事業展開を目指すために実施した。

(ウ) 中間報告会

(H30. 10. 30(火) 14:00～16:20 参加者：各区中央市民センター若者事業担当者等 16 名)
生涯学習支援センター・各区中央市民センターにおける事業のこれまでの取組状況の報告と今後の予定などの情報の共有化を図り、今後の事業展開の参考とするために実施した。

(エ) 交流会

(H31. 1. 20(日) 参加者：各区中央市民センター若者事業担当者等 8 名 受講者 10 名)
本事業の受講者を集め、情報交換を行うことで交流を深めるとともに、受講者自身の事業の振り返りや事業改善、活動意欲を高めることをねらいとして、せんだいメディアテークで実施した。

(オ) 若者社会参画型学習推進事業PR動画制作に係る委託事業

各区中央市民センターにおける事業の受講者増を図るため、大学等でのプレゼンテーション時やインターネット上において、若者社会参画型学習推進事業を紹介する動画を作成した。

(カ) 成果報告会 【助言者】松田道雄 氏（尚絅学院大学 特任教授）

(H31. 1. 20(日) 参加者：事業受講者 21 名 社会教育施設職員等 117 名 市民 241 名)
せんだいメディアテークを会場に、市民センター事業担当者及び事業受講者、市民センター職員、関係課職員、市民を対象に、各区事業の取組並びに成果と課題等について総括する成果報告会を開催した。事業報告とポスターセッションを事業担当者や受講者が行い、助言者からアドバイスをいただき、次年度事業に向けてのブラッシュアップを図った。

(2) 住民参画・問題解決型学習推進事業

地域特性に応じた市民協働による地域づくりを推進するため、住民と市民センター職員が協働して地域課題を発見し、解決につながる活動を実践することにより、そこでのさまざまな学びのプロセスを通して地域づくりを担う人材を発掘・育成することを目的に、平成 23 年度から各区中央市民センターを中心に事業を実施しており、区中央市民センターの支援のもと地区市民センターへの事業展開を図っている。

【各区中央市民センターにおける受講者数等一覧】

区	受講者数	受講者延人数	イベント参加者数	受講者内訳
青葉区	96	710	1,070	三本松 9, 宮城西 16, 吉成 18, 柏木 26, 落合 27

宮城野区	40	439	486	高砂13, 田子8, 岩切14, 幸町5
若林区	18	157	550	六郷7・団体8
太白区	26	136	7, 100	区内18団体
泉区	31	573	999	寺岡4, 松陵8, 根白石19

① 地域元気クラブ

<青葉区中央市民センター>

受講生が講座での学びを生かして、地域の資源や人材を活用し、地域を元気にする企画を提案・実践していくことで、地域活性化のためのノウハウや地域づくりに必要なネットワークを学んだ。企画する事業での参加者や連携先が増えたり、学校をはじめとする地域の諸団体から活動依頼が増えたりするなど地域との顔の見える関係が築かれつつある。

(企画・実施した事業…野鳥を見る会、公園整備・活性化に係る勉強会、初日の出を観る会等)

② 地域の“絆”再生プロジェクト 「地域づくり講座」

<宮城野区中央市民センター>

高砂市民センター、田子市民センター、幸町市民センター、岩切市民センターと連携しながら、住民がこれまで以上に地域づくりに関心を持ち、地域の課題や将来像を共有できるようにするためのワークショップやフィールドワーク等を展開する講座を行った。

今年度の成果として、「中野ふるさと学校」では、「日和山登山」や「日和山サミット」等のイベント、県内4ヶ所ある「日和山」の視察調査を行った。また、県内外の団体と連携し、「ふるさと」の生活や記憶を伝え広げる活動にも主体的に取り組んだ。

「田子今昔物語」では、実際に地域を歩きながら田子地域が持つ魅力を探し、「リーフレット作り」に取り組んだ。写真の選定や編集作業を進める中で、今まで気が付かなかった自然の魅力や昔から伝わる田子の暮らしについて再発見できた。

「柞江の森 魅力発信プロジェクト」では、「柞江の森」に実際に入って地形や植物を含めた現状を知ることができた。企画会では、以前行われていた取組や体験、他地域の活動事例について学び、「柞江の森」の今後の利活用について考えを深めることができた。

「子どもの広場（居場所）づくりボランティア」では、児童数の増加に伴う遊び場の創出に着眼し、事業を始めた。地域で活動するサークルや団体等からボランティアを募り、子どもの遊びや体験を支え、子どもを見守るネットワークづくりを目指している。

いずれの講座でも取組の段階に応じた手順を踏んで、事業を展開していくことができた。

③ わたしのふるさとプロジェクト

<若林区中央市民センター>

震災による津波で大きな被害を受けた六郷の沿岸地域の状況を踏まえて企画した事業。六郷東部地区は移転された方も多く、震災前と比べて人口が大きく減少している。一方、

地域に残った方、戻った方はもとより、移転された方の間でも地域への愛着は強い。このような地域課題を踏まえ、平成 30 年度も六郷東部地区のコミュニティやにぎわい再生に向けて「わたしのふるさとプロジェクト」を継続し、六郷東部地区住民が交流する機会を創出するために地域住民（移転された方を含む）の話し合いを月 1 回程度行った。8 月 18 日には、初めての取り組みとして東六郷小学校跡地を会場に「来てけさいん♪六郷東部夏祭り」を開催した。また、前年度に引き続き、1 月 26 日に東六郷コミュニティ・センター及び二木津波避難ビルを会場に「ふるさとにつどう第 4 回鎮魂の花火」を実施した。

④太白おやしネットワーク事業

＜太白区中央市民センター＞

太白区内各小中学校に在籍する児童・生徒の保護者で構成する任意団体（通称：親父の会）や地域の企業、高等教育機関を中心としたネットワークの構築を目指して事業を展開してきた。各地域においては、「転勤族が多く、横のつながりが希薄」「高齢者が多く、防災・防犯面で不安」などの地域課題の解決に向けて、意欲的に取り組んでいる団体もあれば、活動が停滞している団体もある。そこで、各地域での活動を支援しつつ、緩やかにネットワークを形成し、お互いが刺激し合い、学び合う機会を設けた。地域の企業や大学等の教育機関がネットワークに加わることで、専門的な助言や支援を各団体の地域活動に生かすことができた。主に小学生とその保護者を対象としたスポーツイベント「たいはくみんな de スポフェス」開催に向けて 5 回の企画会を実施し、イベントの企画に加え、各地域の活動等の情報交換会を進めてきた。同スポーツイベントでは、およそ 7,100 名が来場し、親子で様々なスポーツを体験した。

⑤ 地域いきいきプロジェクト

＜泉区中央市民センター＞

地域特性に応じながら、住民と各地区館職員が協働で地域課題を発見し解決につながる活動を実践した。また、事業進行での様々な学習活動を通じて、地域の人材育成が行われている。平成 30 年度は、①地域の中で一歩踏み出すパワーを育むための企画講座「探求、自分。」を寺岡市民センターで実施、②ガイドボランティア自身が今後の在り方を探るための館外学習「岩切探訪の会に学ぶ」「いってみっぺ秋保に学ぶ」、加えて、③根白石の地域活性化の手段を検討する「プロジェクト企画会」を根白石市民センターで実施、④紙芝居の創作を通して自己実現や地域貢献を目指す「みんなで創る紙芝居」を松陵市民センターで実施した。

⑥ 「住民参画・問題解決型学習推進事業」にかかる支援及び成果報告会

＜生涯学習支援センター＞

各区中央市民センターで実施している本事業の受講者や担当者、地区市民センター職員を対象に、研修会や報告会等を実施することを通して各区中央市民センターの事業推進を支援した。

(ア) 方向性を確認する会

(H30. 4. 19(金) 14:00～17:15 参加者：各区中央市民センター大人事業担当者等 21 名)

生涯学習支援センター・各区中央市民センターの事業担当者を対象に、年度初めに際し、実施計画をもとにした情報交換と、地区市民センターへの事業支援の在り方に関する検討を行うことにより、事業内容をブラッシュアップするとともに、効果的な事業展開を目指すために実施した。

(イ) 中間報告会

(H30. 10. 23(火) 14:00～17:15 参加者：各区中央市民センター大人事業担当者等 11 名)

生涯学習支援センター・各区中央市民センターにおける事業の取組状況の報告と今後の予定などの情報の共有化を図り、今後の事業展開の参考とするために実施した。

(ウ) 成果報告会 【助言者】松田 道雄 氏 (尚絅学院大学 特任教授)

(H31. 1. 20(日) 参加者：事業受講者 40 名 社会教育施設職員等 117 名 市民 241 名)

せんだいメディアテークを会場に、市民センター事業担当者及び事業受講者、市民センター職員、関係課職員、市民を対象に、各区事業の取組並びに成果と課題等について総括する成果報告会を開催した。事業報告とポスターセッションを事業担当者や受講者が行い、助言者からアドバイスをいただき、次年度事業に向けてのブラッシュアップを図った。

(エ) パンフレットの発行

市民や関係機関に向け、住民参画・問題解決型学習推進事業の啓発のために 1,500 部作成し、区中央市民センター及び地区市民センター職員に配布し、市民向けに配架した。



(3) 子ども参画型社会創造支援事業

本事業は、子どもたち（小学生、中学生、高校生）が、地域の中で役割を持ち、社会の構成員として積極的にまちづくりに参加し、自分たちの地域の課題に気づき、地域・社会の一員として行動する視点を持つことで、将来的に地域や社会で主体的に活躍できるようになることを目指した「人づくり」を目的としている。平成 23 年度から、各区中央市民センターを中心として実施しており、区中央市民センターの支援のもと地区市民センターへの事業展開を図っている。

【各区中央市民センターにおける受講者数等一覧】

区	受講者数	受講者延人数	イベント参加者数	受講者内訳
青葉区	15	166	343	小・中学生，高校生
宮城野区	65	240	600	小・中学生， ※大学生，専門学校生

若林区	29	225	(実施せず)	小・中学生
太白区	13	120	(実施せず)	小学生
泉区	8	44	258	小・中学生

※学生アシスタントとして参加

① 地域盛り上げ隊

<青葉区中央市民センター>

広瀬市民センターにおける「カップダ川プロジェクト」では公開講座のサポートを受講者が行った。また「カップダ川ダンス部」は、地域に流れる『カップダ川』をテーマにしたダンスを地域行事で披露したり、地域住民とともに踊ったりしながら地域の絆づくりに積極的に取り組んだ。

活動を通して、地域のひと・もの・ことについて理解を深めるとともに、それらを尊重しようとする心情も育ってきている。受講者が地区まつりやボランティア活動に参加するなど、社会参画に資する人材育成も進んでいる。

青葉区中央市民センターにおける「青陵インパクト」では、小学生が地域での活動に目を向け、将来主体的に地域で活躍できる人材に育つことを目指しカードゲームを制作した。これと並行し、区内の小学校に「あなたのまちの『すてき』を絵にしよう！」と絵画募集を行ったところ282点の作品が集まり、絵画をとおし小学生の地域への関心も高まったと考えられる。

また、青陵インパクトメンバーの意見を練りあい、賞を受賞した絵画はカードゲームに生かすことにした。作成したカードゲームは青葉区民まつりでメンバーが紹介し、地域に関心を持ってもらうための機会とした。

本事業に参加したメンバーは企画・制作をとおして地域活動への関心が高まり、次年度はカードゲームの普及に児童館へ出向きたい、町内会役員の仕事を取材し発信する方法を考えたいと意欲的にこの事業に取り組んでいる。

② 進め！キッズもりあげ隊 ～みんなの力で地域を元気にしよう～

<宮城野区中央市民センター>

2つの地区市民センターと共催で、子どもたち目線でそれぞれの地域を盛り上げた。

区中央市民センターでは、原町小・宮城野小・東宮城野小児童を対象とした、「キッズもりあげ隊」を実施。「交流」と「仲間集め」をテーマに、地域のまつりに遊びのお店を出店し仲間を募ったり、市民センターを会場に子どもから大人までみんなで楽しく交流できる場を作ったりした。

鶴ヶ谷市民センターでは、鶴ヶ谷中生徒を対象にした、「みんなで支え育もう 鶴ヶ谷の心を！」を実施。中学校の部活動顧問やスーパーバイザーと連携し、中学校区内児童館の児童を対象に年賀はがき作りなどのワークショップを数回実施して、異年齢交流を行った。

子どもたちが地域の市民センター等に自分たちの活動拠点を設け、イベント企画や情報収集・発信の活動によって地域とつながり、社会に参画していくきっかけづくりになっていた。

③ 子どもボランティア事業 チャイルドボランティア「チャボ！」

＜若林区中央市民センター＞

誰かの役に立つことで社会・地域の一員として自分の存在の大切さを体感することができるよう、子どもたちにボランティア活動の機会をつくる事業。対象は当センター近隣の小学4年生～中学生で、平成31年3月現在29名が登録している。地域の団体や施設などの協力を得て、一年を通して月1、2回活動しており、平成30年度は、地域清掃、児童館等の行事の手伝い、被災した東部沿岸地域のみどりの再生に取り組んでいる「ふるさとの杜再生プロジェクト」の植樹会への参加、高齢の方に届ける宅配弁当に添える手紙書きなど27回の活動を行った。

④ エフエムたいはくキッズ情報局

＜太白区中央市民センター＞

西多賀市民センターと近隣小学校3校から集まる児童が、それぞれの地域の良さをエフエムたいはくのラジオで発信するという事業として、全8回活動した。エフエムたいはくのキッズアナウンサーとして、また、地域のキッズリーダーとして、市民センターや学校を拠点に活動し、地域の魅力等を取材し、まとめたことをFM放送で発信した。

地区市民センターを拠点に活動することにより、地域のさまざまな方と交流することができた。また、番組作りを通して、自分たちの地域を学習したり、地域の良さを再発見したりすることができ、地元意識・地域愛につながった。さらに、地域の方々との交流を実施することで、自分たちの地域の良さをもっと調べて発信したいという意欲につながった。

また、ジュニアリーダーと一緒に地域の行事に参加することにより、ジュニアリーダーの頼もしさを感じることができ、ジュニアリーダーの活動を知ってもらい良い機会となった。

⑤ 子どもまちづくり企画室

＜泉区中央市民センター＞

泉区中央市民センター「子どもまちづくり企画室」は、小中学生が自分たちの住む地域にある課題やニーズに気付き、自分たちにできることを考え、取り組める子どもたちの育成を目指す事業で、平成28年度から実施している。平成30年度は、七北田中学校区の小中学生が「地域をきれいにすること」「町の魅力を伝えること」「地域の人が交流すること」をテーマとして地域との関わりを広げながら活動を展開した。また、自主企画として「第2回ひろって！歩いて！楽しんで！七北田・市名坂まちあるき」や「凧を作ろう！揚げよう！体験会」などを実施した。企画員となった子どもたちは、人のために役立つことの楽しさを感じながら地域の力になれることを一石二鳥だと感じられるこの活動を続けていきたいとの感想を寄せてくれた。

南光台市民センター「南光台シアター企画室」は、映画会を通して自分たちの思いや考えを実現し、地域での活動の大切さ、喜びを実感できる「地域のために力を発揮する小学生」を育む講座で、平成30年度から実施している。講座に参加した子どもたちは、上映する作品の選定、ドッジビー大会やゲーム企画などのお楽しみタイムの企画、参加者に振る

舞うポップコーンの調理などさまざまな活動を行った。2度にわたり開催された映画会「南光台シアター」には多くの小学生が参加し盛り上がった。

⑥「子ども参画型社会創造支援事業」にかかる支援及び成果報告会

＜生涯学習支援センター＞

各区中央市民センターで実施している本事業の受講者や担当者，地区市民センター職員を対象に，報告会や情報交換会等を実施し，各区の事業推進を支援した。

(ア) 方向性を確認する会

(H30.4.19(金)14:00～17:15 参加者：各区中央市民センター子ども事業担当者等 21名)

生涯学習支援センター・各区中央市民センターの事業担当者を対象に，年度初めに際し，実施計画をもとに情報交換と，地区市民センターへの事業支援の在り方に関する検討を行うことにより，事業内容をブラッシュアップし，効果的な事業展開を推進することを目的として実施した。

(イ) 中間報告会

(H30.10.16(火)14:00～17:15 参加者：各区中央市民センター子ども事業担当者等 15名)

生涯学習支援センター・各区中央市民センターにおける，これまでの事業の取組状況報告や今後の予定などの情報共有を図り，今後の事業展開の参考とするために実施した。

(ウ) 成果報告会

(H31.1.20(日) 参加者：事業受講者 48名 社会教育施設職員等 117名 市民 241名)

各区中央市民センターの子ども事業受講者が，取組の様子や自分たちの意識の変化について発表した。地区市民センター職員に対しては，本事業への市民センターとしての働き掛けや支援の実際について，普及・啓発を図る内容とした。

(エ) 事例発表研究研修会

(H31.2.28(木) 参加者：地区市民センター職員等 70名)

「石巻市子どもセンターらいつ」の事例を通して，子どもをはじめ地域に主体的に関わる人材育成ならびに多世代が関わるまちづくりの方策について学び，職員の意識並びに事業企画・運営に関する技術の向上を目的として実施した。

(オ) リーフレットの発行

地区市民センター及び仙台市内の小中学校に向けて，子ども参画型社会創造支援事業の啓発のために発行した。1,000部作成し，地区市民センター職員と市内小中学校，高等学校，中等教育学校に配付した。今年度は，学校教職員の理解をより得られるように，紙面を工夫した。



(4) 調査研究

＜生涯学習支援センター＞

生涯学習事業の現代的課題について、具体的先進的事業の事例研究として「調査」・「研究」・「分析評価」・「成果の活用」等を実施する。

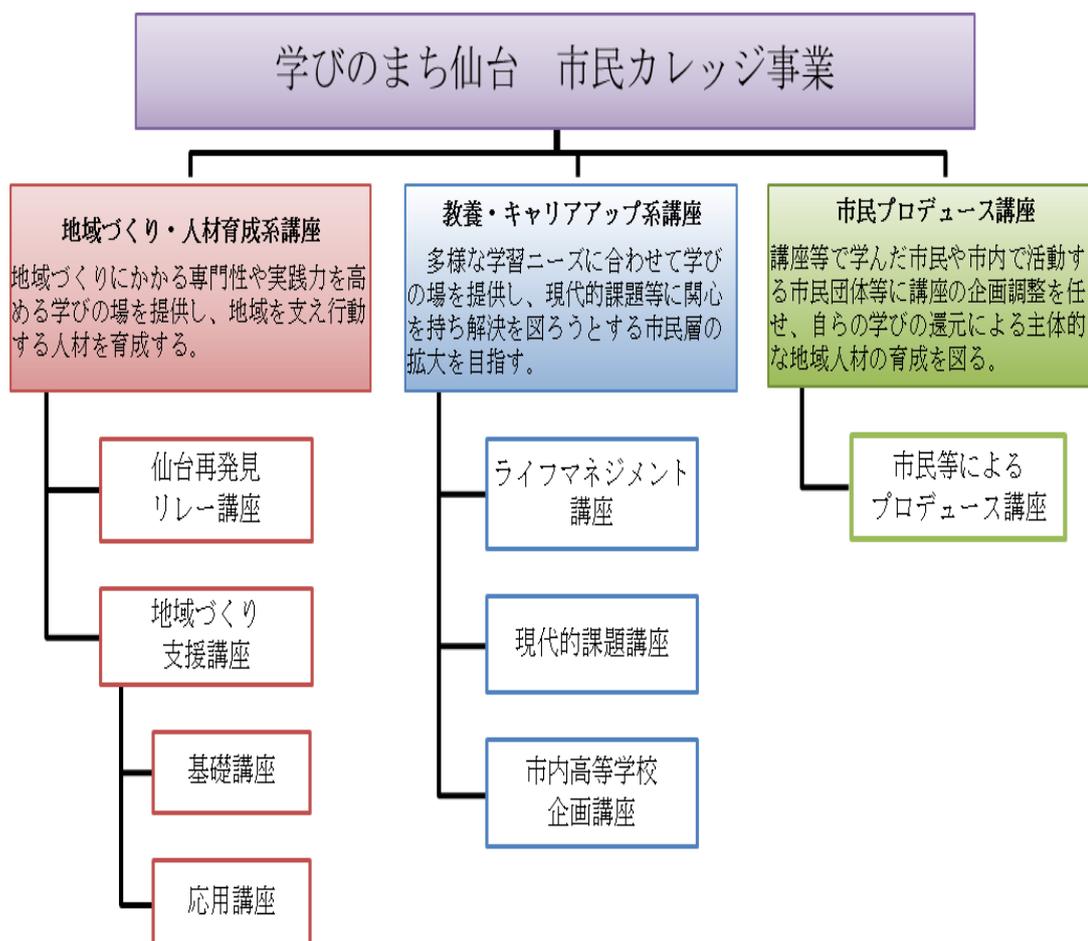
○事業実施報告書の作成

「子ども参画型社会創造支援事業」、「若者社会参画型学習推進事業」、「住民参画・問題解決型学習推進事業」の各事業について、平成26年度（若者事業については平成25年度）から平成29年度の第2期における成果と課題及び評価を考察し、実施報告書としてまとめた。

(5) 学びのまち仙台市民カレッジ事業

＜生涯学習支援センター＞

本市における生涯学習の支援拠点として、全市域の市民を対象に、社会ニーズや現代的課題に対応した、専門的で質の高い学習の機会を創出することで、学びを通じた市民力の育成を目指すとともに、学習成果が地域や社会に還元されるような仕組みづくりを進める。



①「仙台再発見リレー講座」 5回選択講座

在仙の専門家により、仙台の魅力や現状などをよく理解し、地域について考えるきっかけとなるリレー講座を実施。平成30年度は観光、街並み、気象等をテーマに、仙台の「今

昔」を考察する講座を実施した。

回	日時	概 要	受講者
1	5.26(土) 14:00～16:00	講話「個人視点で世界に発信！iメッセージで伝える観光都市」 (株)インアウトバウンド仙台・松島 観光事業執行役員 後藤光正 氏	40
2	6.16(土) 14:00～16:00	講話「仙台の街並み いま・むかし」 20世紀アーカイブ仙台 佐藤正実 氏	54
3	6.23(土) 14:00～16:00	講話「住みやすいまち・気象から見る仙台」 気象予報士 鈴木智恵 氏	54
4	7.14(土) 14:00～16:00	講話「水族館 いま・むかし ～松島から仙台へ～」 仙台うみの杜水族館 (株)マリンピア 神宮潤一 氏	36
5	7.21(土) 14:00～16:00	講話「仙台藩の特産品と食」 元仙台市博物館 学芸普及室長 菅野正道 氏	46

②「地域づくり支援基礎講座」～身近な事例から学ぶ～ 5回連続講座

参加者が地域づくりに取り組もうとする際に、どのような方法で活動をしていけばよいか、地域づくりの先駆者の実践事例、研究者の講話、受講者同士のワークショップ等を通して学び、実践に活かせる知識・スキル等を身につけられるようにする。町内会や学校との地域づくりなどをテーマとして実施した。

回	日時	概 要	受講者
1	5.16(水) 18:30～20:30	開講式／講話・ワーク「地域づくりを楽しもう！」 株式会社 MCラボ 代表取締役 阿部清人 氏 ※講座のコーディネーターは、阿部清人 氏	14
2	6.6(水) 18:30～20:30	事例発表「町内会と地域づくり」 中田地区鉄道高架化・まちづくり勉強会 会 長 阿部欣也 氏 柳生市民センター 前館長 樋口 洋 氏	23
3	7.4(水) 18:30～20:30	事例発表「情報発信による地域づくり」 一般社団法人 みやぎ連携復興センター 常務理事・事務局長 千葉富士男 氏	18
4	8.1(水) 18:30～20:30	事例発表「学校を中心とした地域づくり」 愛子ハグリッズ 運営委員長 千田初男 氏 愛子・錦ヶ丘小学校学校支援地域本部 めですこスクール 安藤直美 氏	21
5	9.1(土) 13:30～17:00	館外学習「魅知国定席“花座”視察」／閉講式 (公財)落語芸術協会 仙台事務所長 白津守康 氏 株式会社 MCラボ 代表取締役 阿部清人 氏	16

③「地域づくり支援応用講座」～あなたの力をスキルアップ～ 5回連続講座

地域づくり支援基礎講座の受講者や活動経験者を対象に実施し、基礎講座のステップアップ講座として位置づける。同一のコーディネーターが講座デザインを行い、学びの一貫性を保つ。地域課題、コミュニケーション術などをテーマとして実施した。

回	日時	概要	要	受講者
1	10.3(水) 18:30～20:30	開講式 講話①「福住町の防災 de まちづくり」 福住町町内会防災減災部長 大内幸子 氏 講話②「かむりの里いきいきプロジェクト」 泉西部地区連合町内会長 早坂廣輝 氏		18
2	11.7(水) 18:30～20:30	講話・グループワーク「地域づくりの具体的な取り組みを考える」 一般社団法人 みやぎ連携復興センター 常務理事・事務局長 千葉富士男 氏		16
3	12.1(土) 10:00～12:30	館外学習「かむりの里風揚げフェスタ」 根白石市民センター 館長 葛西雄二 氏		10
4	1.9(水) 18:30～20:30	講話「個に応じたコミュニケーションで安心感のある環境づくり」 株式会社アライブ・ワン 代表取締役 後藤美香 氏		14
5	2.6(水) 18:30～20:30	講話・ワーク「学びの振り返り」／閉講式 株式会社MCラボ 代表取締役 阿部清人 氏		10

④「ライフマネジメント講座 私らしくライフデザイン」～なりたい自分をイメージ～ 4回連続講座（託児付）

子どもの就園・就学等の後に漠然と何かしたいと考えている女性を対象に、気持ちの整理を後押しし、その後の人生の多様な選択肢につながる学びや交流の場となるような講座を託児付きで実施した。

回	開催日	概要	要	受講者
1	6.7(木) 10:00～12:00	講話・ワーク「多様化する女性の生き方」 (公財) せんだい男女共同参画財団 安彦美保 氏		12
2	6.14(木) 10:00～12:00	講話・ワーク「自分の想いを棚おろし」 株式会社 ゆいネット 代表取締役 稲葉雅子 氏		18
3	6.21(木) 10:00～12:00	講話・ワーク「少し先行くママに聞く」 就労や地域活動を行っている女性3名との対話 ファシリテーター：(特活)せんだいファミリーサポート・ ネットワーク代表理事 伊藤任佐子 氏		13
4	6.28(木) 10:00～12:00	講話・ワーク「はじめの一步を踏み出すために」 株式会社 ゆいネット 代表取締役 稲葉雅子 氏		13

⑤「現代的課題講座 最先端の研究成果に学ぶ 食と環境」3回講座

平成30年度は、高等教育機関における食と環境に係る研究成果を学ぶ講座を実施した。

回	開催日	概要	要	受講者
1	1.12(土) 13:00～15:00	講話「私たちの食生活・健康・環境問題の以外な関係」 東北大学大学院環境科学研究科准教授 トレンチャー・グレゴリー 氏		33
2	2.2(土) 13:00～15:00	講話「乳・乳製品における乳製品開発研究と健康・環境への影響」 東北大学名誉教授 斎藤忠夫 氏		42
3	2.9(土) 13:00～15:00	講話「地産地消の恵みから発酵文化の可能性を考える」 宮城大学食産業学部フードビジネス科教授 金内 誠 氏		43

⑥ 「市立高等学校教員による企画講座」

仙台市立高等学校の教員を派遣してもらい、市民向けの実学的な講座を開催する。2時間ずつの3回連続講座「高校開放講座」事業と連動して行う。(p.35「高校開放講座」参照)

⑦ 「市民等によるプロデュース講座」

市民センターの講座等の受講生や市内で活動する団体等が、身近な地域をより良くするために、学びや専門性を活かして講座の企画やコーディネートを行い、他の市民とともに専門的な講話やワークショップから学ぶ。昨年度に引き続き、地域づくり支援講座を受講した女性防災リーダー、学校支援地域本部のスーパーバイザーやコーディネーターの企画・運営による2講座を実施。

i) 「防災・減災講座」 5回連続講座

回	開催日	概	要	受講者
1	9.22(土) 14:00~16:00	開講式 講話「長町-利府断層帯から発生する直下型地震について」 東北大学 災害科学国際研究所 教授 遠田晋次 氏		45
2	10.6(土) 14:00~16:00	講話「教えて和田さん!~命を守る気象情報!~」 秋田地方気象台 防災気象官 和田幸一郎 氏		37
3	10.27(土) 14:00~16:00	講話「地域防災の視点から見た減災の考え方」 東北大学 災害科学国際研究所 教授 佐藤 健 氏		36
4	11.4(日) 10:00~13:00	館外学習・視察「福住町の防災訓練視察」 福住町町内会副会長・防災減災部長 大内幸子 氏		26
5	12.8(土) 14:00~16:00	ワーク「クロスロードゲームで多様な価値観を共有」 宮城野区まちづくり推進課ふるさと支援担当 主査 太田千尋 氏 閉講式		20

ii) 「子どもの『こころ』のアレやコレ~子どもたちに寄り添うために~」 3回連続講座

回	開催日	概	要	受講者
1	10.26(金) 10:00~12:00	開講式 講話「子どもの健やかな脳発達のために」 東北大学 加齢医学研究所 教授 瀧 靖之 氏		38
2	11.2(金) 10:00~12:00	講話「特別なニーズのある子どもたちへの支援のヒント」 東北大学大学院教育学研究科 教授 野口和人 氏		50
3	11.16(金) 10:00~12:00	講話「チャイルド・ライフ・スペシャリストの仕事から学ぶ 子どもの関わり方」 宮城県立こども病院 チャイルド・ライフ・スペシャリスト 大塚有希 氏		48

2 広域規模の学習支援

(1) 高等学校開放講座

<生涯学習支援センター>

高等学校の持つ教育機能を生かし、市民の生活上・職業上の専門知識・技能及び一般教養の修得を図る。【昭和51年度開始 市立高校5校・5講座, 受講生115名, 延265名】

学校名	講座名	内容	実施日	受講者
仙台青陵中等教育学校	学び直しの大人の古典	平家物語の文学史的な位置づけや歴史的転換期の描き方, 名場面の解釈を学び, 配役を決めて音読。「判官びいき」の背景にあるものを考える。	8.1(水)～ 8.3(金)	25
仙台高校	ケガをしない身体と動きをつくる	スポーツに取り組む小中学生を対象に, 安全で効率的な筋肉の動かし方や身体づくりに望ましい食事のとり方を学ぶ。	9.17(月)～ 9.30(日)	18
仙台工業高校	小中学生アーチェリー教室	家族で新しいスポーツをしてみたい親子を対象に, 近い距離からアーチェリーの矢を放ち, 各自の体力に合わせて競技を楽しむ。	9.22(土)～ 9.30(日)	28
仙台商業高校	表計算入門「エクセル2013基礎講座」	エクセル2013の基礎, 関数の利用, いろいろな表やグラフの作成などを学ぶ。	12.1(土)～ 12.2(日)	26
仙台大志高校	簿記入門	簿記の初歩(日商簿記4級程度)を学ぶ。	12.25(火)～ 12.27(木)	18

(2) 若い青年教室

<生涯学習支援センター>

仙台市内に在住又は勤務している知的障害のある青年に対し, 仲間づくりや生活上の基本的知識・技能の習得に役立つ活動を展開することを目的として, 学習機会を提供する事業を行った。【昭和45年度開設: 教室生33名 9回の教室を実施】

主な活動内容	実施回数	延参加者
○学習会(6回): 6/10, 7/22, 9/9, 11/18, 12/16, 1/27 青葉区中央市民センターを会場に開催。クッキング, 音楽, 探検・スポーツ, 創作・美術の4コースの中から希望するコースごとに分かれて3回の学習を行った。その他, レクリエーション活動・奉仕活動(市内中心部のボランティア清掃), クリスマス会, 節分フェスティバルを行った。 ○秋のハイキング(1回): 10/14 バスを利用して, 新川・定義山方面(ニッカウキスキー仙台工場, 定義山西方寺)にて館外学習を行った。 ○式典(2回) ・委嘱状交付式(講師委嘱17名)、開講式: 4/15 ・コース発表会、修了式: 2/17	9	217

(3) 仙台明治青年大学

＜生涯学習支援センター＞

地区市民センターの老壮大学やシルバーセンターのせんだい豊齡学園等を修了した 61 歳以上の高齢者が「生きがいと自己実現」を図ることを目的として、学習会や大学祭などを自主運営により開催している。本学は昭和 41 年に開設され、平成 28 年度に創立 50 周年を迎えた。

(年度別在籍者数の推移)

年 度	H26	H27	H28	H29	H30
新入生数	103	75	74	78	74
在籍者総数	801	815	810	806	821

(主な活動)

活 動	活動内容	実施回数	延参加者
式典 (2回)	・入学・開講式 ・修了・閉講式(記念講演「本市の学力の状況及び学力向上施策」 佐々木 洋 学長)	25	11,989
大学祭 (3日間)	楽楽楽ホール、生涯学習支援センターを会場に実施。サークル団体の活動発表の場となっている。		
学習会 (20回)	太白区文化センター楽楽楽ホールを会場に開催。1回あたりの平均出席者数は 600 名であった。文化芸能、健康、震災などをテーマに、外部講師を招聘し実施した。		
広報活動	・学生間の情報共有を促進するため、学内広報誌「団欒」を発刊した。 ・文芸誌「老学文苑」を発刊した。	—	—
ボランティア活動	・近隣小学校、児童館、児童養護施設等で昔遊びや囲碁・将棋、七夕飾り作り等を教えている。 ・市民センター事業への協力や外部からの要請に対応した。 ・学習会の際にワンコイン募金活動を行った。	—	—

(4) 自主夜間中学

「仙台に夜間中学をつくり育てる会」が運営する「仙台自主夜間中学」を仙台市教育委員会との共催事業と位置付け、一部会場の提供、市政だよりへの掲載やチラシ配布による広報支援等を行った。

第 1・3 水曜日 昼間部開講 29 回 (会場:仙台市市民活動サポートセンター)

第 1・3 水曜日, 第 2・4 金曜日 夜間部開講 41 回 (会場:生涯学習支援センター)

参加者延数 2,189 人 (生徒 1,045 人 スタッフ 1,030 人 見学等 114 人)

平成 31 年 3 月末実数 生徒 40 人 スタッフ 40 人

3 人材育成

(1) 職員研修（学びを支える人材育成推進事業）

<生涯学習支援センター>

市民センター全 60 館ならびに 19 箇所の社会教育施設等の職員が、生涯学習事業の推進に必要な知識や考え方を深められるようにするとともに、社会の変化や市民ニーズに迅速かつ柔軟に対応しながら、積極的に市民や地域と連携を図ることができる専門性やスキルを身に付けられるようにする。

研修名	受講対象	概 要	受講者
生涯学習 基礎研修 全 6 回	<ul style="list-style-type: none"> ・市民センター職員 ・他の社会教育施設職員（博物館，科学館，図書館，天文台，大倉ふるさとセンター，オーエンス泉岳自然ふれあい館，仙台ひと・まち交流財団，仙台市市民文化事業団5施設） ・関係課職員 	◇第 1 回「社会教育施設新任職員研修」 5/23（水）13:30～17:00 ◎講話 1「社会教育施設職員に求められるもの」 東北大学大学院 教授 高橋 満 氏 ◎講話 2「仙台市の社会教育・生涯学習について」 仙台市教育局生涯学習課長 田中富男 氏 ◎グループワーク	44
		◇第 2 回「社会教育と市民協働」 6/29（金）14:00～17:00 ◎講話「社会教育における市民協働の意義・必要性」 文教大学学園 理事長 野島正也 氏 ◎グループワーク	25
		◇第 3 回「社会教育施設職員の資質」 9/7（金）14:00～17:00 ◎講話「社会における学習支援者としての役割」 東北大学高度教養教育・学生支援機構 准教授 佐藤智子 氏 ◎グループワーク	26
		◇第 4 回「学校と地域の連携について」 ※兼 地域連携担当者研修会 10/12（金）14:00～16:45 ◎講話「地域・学校・社会教育施設の役割」 香川大学地域連携・生涯学習センター長・教授 地域・産学官連携戦略室 副室長 清國祐二 氏 ◎グループワーク	165
		◇第 5 回「学びの連携～仙台市博物館見学～」 11/9（金）14:00～17:00 仙台市博物館 ◎講話「博物館概要説明ならびに博物館事業について」 ◎見学 常設展，企画展見学 ※ 常設展：ガイドボランティアによる説明	60
		◇第 6 回「社会教育施設における評価」 12/19（水）14:00～17:00 ◎講話「社会教育と評価の方法」 特定非営利活動法人 教育支援協会 代表理事 吉田博彦 氏 ◎グループワーク	40

研修名	受講対象	概 要	受講者
市民センター新任職員研修全1回	・市民センター職員 ・関係課職員	4/18 (水) 13:30～17:00 ◎講話1「市民センターの概要」※ ◎講話2「市民参画型事業について」※ ◎講話3「学校との連携について」※ ◎講話4「ジュニアリーダーの活動について」※ ◎講話5「学習情報提供・相談と学習情報の発信について」※ ※生涯学習支援センター職員が担当 ◎講話6「新任職員への期待」 東北学院大学 教授 水谷 修 氏	56
市民センター館長研修全1回	・市民センター館長	8/29 (水) 14:30～17:00 ◎講義とワークショップ 「アンガーマネジメント研修 ～怒りの感情との上手な付き合い方～」 キャリアトーク 代表 志伯暁子 氏	56
社会教育推進研修全2回	・生涯学習支援センター、各区中央市民センター等に所属する社会教育主事等 教育局職員	◇第1回 5/18 (金) 14:15～17:15 ◎講話「社会教育のこれからの使命 ～地方創生と学校支援～」 特定非営利活動法人 教育支援協会 代表理事 吉田博彦 氏 ◎グループワーク ◇第2回 10/4 (木) 14:00～17:00 ◎講話「学びのオーガナイザーとしての 社会教育主事の役割とその実際」 文教大学 准教授 青山鉄兵 氏 ◎グループワーク	17 14
事例発表研究研修全1回	・市民センター職員 ・関係課職員	2/28 (木) 14:00～17:00 ◎事例発表「子どもをはじめとする多世代が関わる まちづくりのために」 石巻市子どもセンターらいつ 進士知子 氏 吉川恭平 氏 ◎グループワーク 「ステークホルダーをピックアップし、 今後展開したい事業企画をイメージしよう」	70

研修名	受講対象	概要	要	受講者
生涯学習 応用研修 ～スキル アップ研 修～ 全5回	・市民センター 職員 ・他の社会教 育施設職員 ・関係課職員	◇第1回「ファシリテーション研修①」 5/31(木)14:00～17:00 ◎講話とワークショップ「ファシリテーション入門」 地域社会デザイン・ラボ 代表 遠藤智栄 氏		28
		◇第2回「ファシリテーション研修②」 7/6(金)14:00～17:00 ◎講話とワークショップ 「ワークショップ体験とファシリテーション」 地域社会デザイン・ラボ 代表 遠藤智栄 氏		28
		◇第3回「ファシリテーション研修③」 9/13(木)14:00～17:00 ◎講話とワークショップ「会議でのファシリテーション」 地域社会デザイン・ラボ 代表 遠藤智栄 氏		27
		◇第4回「相手に届く！情報発信研修①」 1/25(金)14:00～17:00 ◎講義とワークショップ「もっと伝わる！広報戦略のすすめ」 仙台市市民活動サポートセンター 副センター長 松村翔子 氏		15
		◇第5回「相手に届く！情報発信研修②」 2/21(木)14:00～17:00 ◎講義とワークショップ「TPOに応じた効果的な伝え方」 仙台市市民活動サポートセンター 副センター長 松村翔子 氏		19
生涯学習 応用研修 ～現代的 課題対応 研修～ 全3回	・市民センター 職員 ・他の社会教 育施設職員 ・関係課職員	◇第1回「多様性配慮研修①」 6/13(水)14:00～17:00 ◎講話「社会教育施設における多様性への配慮 ～発達障害の理解と支援について学ぶ～」 特定非営利活動法人自閉症ピアリンクセンター ここねっと センター長 黒澤 哲 氏 ◎グループワーク		50
		◇第2回「多様性配慮研修②」 7/13(金)14:00～17:00 ◎講話「あなたの知らない家族のセカイ！ 多様な家族形態への対応と配慮」 尚綱学院大学 教授 渡邊千恵子 氏 ◎グループワーク		43
		◇第3回「多様性配慮研修③」 2/8(金)14:00～17:00 ◎講話「人生100年時代を学ぶ 少子高齢社会における多様性配慮」 神奈川大学 教授 齊藤ゆか 氏 ◎グループワーク		24

(2) 学びを支えるボランティアセミナー

＜生涯学習支援センター＞

「学びのまち・仙台」を支える基盤の充実を目指し、より多くの市民や団体等が、学びの活動に参画できるよう、市民や行政といった立場の違いを越えて理念の共有を図るとともに、ネットワークの構築を進めることを目的として実施した。

受講対象	概 要	受講者
<ul style="list-style-type: none"> ・市民センター職員 ・社会教育施設職員 ・生涯学習ボランティア ・希望する市民 	11/15(木) 14:00～17:00 ◎講話 「ボランティアを愉しむ～大学生の社会貢献」 東北福祉大学 学生生活支援センター ボランティア支援課長 鶴橋 徹 氏 ◎グループワーク	27

(3) 地域コーディネーターリーダー研修

＜生涯学習支援センター＞

子どもを育む地域力を高める視点に立ち、地域内のコミュニケーションやネットワークの活性化を目指し、地域で核となる人材を育成する事業。実際に地域で活躍している市民（企画員）との協働により研修内容を企画・実施した。

受講対象	概 要	受講者
<ul style="list-style-type: none"> ・学校支援助地域本部事業、放課後子ども教室事業、図書室等開放事業、社会学級、学コミ事業の関係者 ・PTA 関係者、学校教員、児童館職員 ・市民センター職員 ・その他 	◇第1回「地域コーディネーターリーダー研修会」 11/29 (木) 13:30～16:30 ◎名刺大交換会ならびに活動交流会 ◎情報交換 ◎講評 国立大学法人宮城教育大学 学長付特任教授 野澤令照 氏	106
	◇第2回「地域コーディネーターリーダー研修会」 2/16 (土) 13:30～16:30 ◎演習「探究の対話」(情報交換を含む) ◎講話「新しいつながりは安心できる場づくりから ～新年度の活動スタートにおけるポイント～」 国立大学法人宮城教育大学 学長付特任教授 野澤令照 氏 ※地域コーディネーターリーダー研修会企画員会 研修会の方向性や内容の検討 (全5回 延参加者42名) 5/15(火)16:00～17:00, 8/22(水)14:00～17:00, 10/26(金)14:00～17:00, 12/21(金)14:00～17:00, 3/14(木)10:00～12:00	54

(4) ボランティア養成等人材育成事業

① 託児ボランティア養成・活動支援

<生涯学習支援センター>

子育て中の保護者が安心して学習できるよう、市民センターでは託児付きの講座を設けている（平成30年度実績：31事業）。

託児は、ボランティアグループによる主体的な運営を基本としており、そのため、託児ボランティアグループの活動を支援するとともに、新たな託児ボランティアの養成のための研修会を実施している。

事業名	開催日	内 容	延受講者
託児ボランティア連絡会・調整会	5月8日 12月4日 3月5日	市民センターで活動する託児ボランティアグループの代表者等と意見交換を行うため、連絡会、調整会を開催した。	64
託児ボランティア養成講座（託児付）	9月27日 10月4日 10月11日 10月18日 10月25日 全回木曜日 10:00 ～11:30	託児ボランティアとしての活動に必要な知識や技術を学ぶ講座（全5回）を実施した。 ◎オリエンテーション「託児ボランティア活動について」 ◎講話「子どもを取り巻く環境①遊びと発達」 仙台市蒲町保育所 主任 松岡明子 氏 ◎移動学習「子どもを取り巻く環境②保育所見学」 仙台市向山保育所見学 ◎講話「子どもの病気と怪我」 若林区家庭健康課 母子保健係長 今野明美 氏 ◎話し合い、実技「これからの活動に向けて」	38
託児ボランティアフォローアップ研修	12月4日 (火) 10:00 ～12:00	より質の高い託児室運営のため、託児ボランティアの資質や技術向上に役立つ研修を実施した。 ◎講話「配慮が必要なお子さんへの対応について」 仙台市支倉保育所地域子育て支援センター 主任 高橋伸子 氏	30

【託児ボランティアグループ一覧】（平成31年3月現在）

グループ名	設立年月日	主な活動区域（区域以外での活動も有り）	会員数
にんじん	S59. 7	宮城野区, 青葉区	3
たんぽぽ	H 3	太白区	12
アリスの会	H 5. 7	若林区, 青葉区, 宮城野区	4
てっこの会	H 6. 4	青葉区・泉区	5
クリップ	H 9. 4	市内全般	5
ひまわり	H 9. 8	泉区, 青葉区, 宮城野区を主として市内全般	8
でんでんむし	H12. 3	太白区	8
さくらんぼ	H14. 5	青葉区	7
ハイジ	H22. 4	若林区	9
合計 9グループ / 会員数 61名			

② 図書ボランティア活動支援

<生涯学習支援センター>

市民センター併設の図書室（48館）のうち28館の図書室では、市民ボランティアの協力により図書の貸し出し等の運営を行っている。

その図書ボランティアの活動を支援するためのスキルアップ研修を実施した。

事業名	開催日	内 容	受講者
図書ボランティアスキルアップ研修	12/13 (木) 14:00 ～16:00	◎講話とワークショップ 「手軽に始める本の修理」 仙台市榴岡図書館 館長 中里省一 氏 仙台市榴岡図書館 司書 遠藤未雪 氏	31

【図書ボランティア一覧】（平成30年7月現在）

グループ名	活動館	会員数
さくらさくら	北山市民センター	13
カンナの会	福沢市民センター	11
図書ボランティアぽけっと	三本松市民センター	8
（個人登録）	片平市民センター	5
（グループ名なし）	水の森市民センター	18
ひまわり	貝ヶ森市民センター	9
コスモス文庫	大沢市民センター	15
図書ボランティア葉の会	落合市民センター	12
（個人登録）	中山市民センター	4
図書ボランティアたんぽぽ	吉成市民センター	10
図書ボランティア	木町通市民センター	8
かすみそう	高砂市民センター	5
しおりの会	岩切市民センター	10
おはなしこぶた	岩切市民センター	3
図書ボランティア「もくれんの会」	鶴ヶ谷市民センター	11
ターンぽっぽ	東部市民センター	8
図書ボランティアサークル「ひまわり」	幸町市民センター	8
（グループ名なし）	田子市民センター	1
（個人登録）	七郷市民センター	7
（個人登録）	沖野市民センター	8
ブックスフレンド中田	中田市民センター	17
図書ボランティア	西多賀市民センター	3
八木山図書ボランティア委員会	八木山市民センター	28
図書ボランティア縄文	山田市民センター	7
茂庭台図書ボランティア	茂庭台市民センター	12
（個人登録）	東中田市民センター	7
ブックポケット	柳生市民センター	6
富沢市民センター図書ボランティアの会	富沢市民センター	20
松森市民センター図書ボランティア	松森市民センター	6
ボランティア数計 280名		

(5) 実習受入

○社会教育実習生

東北学院大学、宮城教育大学、東北芸術工科大学からの依頼を受け、各大学の社会教育主事資格取得を目指す学生を社会教育実習生として生涯学習支援センター及び各区中央市民センターで受け入れ、公民館（市民センター）の概要や講座の企画立案・実践について指導した。

a. 施設実習 H30.8.21（火）～H30.8.26（日）

b. 講座実習 H30.11～H30.12 月上旬

c. 実習報告 H31.2.5（火）、2.6（水）

実習生 東北学院大学 15名(a. b. c.), 宮城教育大学 3名(a. のみ),
東北芸術工科大学 3名(a. のみ)

○大学生施設見学（生涯学習支援センター）

大学の授業の一環として施設見学を受け入れ、市民センター業務について学ぶ機会を提供した。

聖和学園短期大学……25名程度

○インターンシップ（区中央市民センター）

大学生が市民センター事業や来館者との交流等を通じて、社会人としての実践的なスキルを身につけるとともに就職活動の参考となるよう、実習生を受け入れ指導した。

○児童・生徒の職場体験実習

小学生、中学生の職場体験実習を受け入れ、市民センター業務について学ぶ機会を提供した。

《生涯学習支援センターの受け入れ実績 小学校（1校 32名）、中学校（1校 4名）》

【中学校職場体験】

仙台市立五橋中学校 ……4名

【仙台市立榴岡小学校】

第4学年総合的な学習の時間「弟子入り留学」… 7名

第2学年生活科「まちたんけん」……………25名

※各区中央市民センター（拠点館）においても、同様に児童・生徒の職場体験実習を受け入れている。

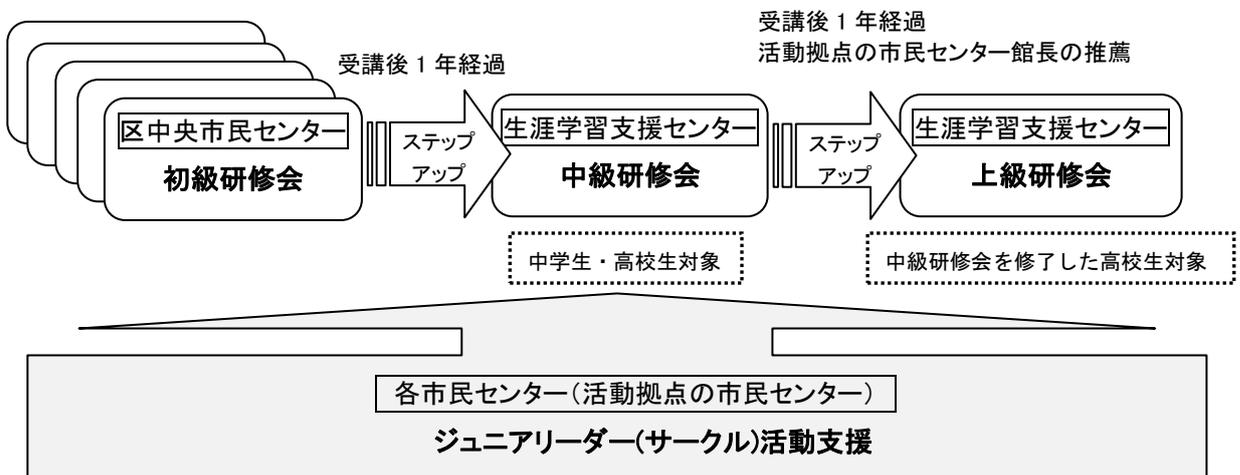
4 ジュニアリーダー

ジュニアリーダー育成・支援

ジュニアリーダーとは、青少年ボランティア活動の一環として、仙台市教育委員会の支援を受け、各市民センターを拠点として活動している中学生・高校生のことである。

ジュニアリーダーの主な活動内容は、地域の子ども会活動を活性化するための支援であり、この活動を通して、地域全体の活性化に貢献している。また、子どもを対象としたイベントの企画・実施や、様々なボランティア活動にも積極的に取り組んでおり、ジュニアリーダー自身の人格形成に生かされている。

ジュニアリーダーを育成するために、各区中央市民センターにおいて初級研修会（初心者を対象）、生涯学習支援センターにおいて中級研修会・上級研修会（ステップアップ研修）を実施している。さらに、ジュニアリーダーの活動の拠点となっている市民センターにおいては、活動の支援に加え、ジュニアリーダーを指導者とした事業も行っている。



【ジュニアリーダーサークルの主な活動】

- 自主企画(ジュニアと遊ぼう、交流会など)、定例研修会及び連絡会、各種研修会の実施
- 子ども会、市民センター、その他の機関からの要請による活動
 - ・子ども会行事の実施及び企画の補助
 - ・区民まつりへの参加
 - ・市民センター事業への補助
 - ・児童館行事のスタッフ など

○ジュニアリーダー初級研修会

＜区中央市民センター＞（共催：仙台市嘱託社会教育主事研究協議会支部）

各区中央市民センターを会場に、ジュニアリーダーとして必要となる基本的な知識や技術を習得するための研修を行った。対象者は、「新たにジュニアリーダーを志す中学生・高校生」とした。

本研修会は、ジュニアリーダー活動の理念に触れ、興味・関心を高めるとともに、現ジ

ジュニアリーダーとの親睦を図り、今後の活動への意欲を持たせることを中心に実施した。

【平成 30 年度実績】

主催館名	開催日	受講者
青葉区中央市民センター	7月1日(日)	52
宮城野区中央市民センター	7月29日(日)	21
若林区中央市民センター	12月9日(日)	13
太白区中央市民センター	7月7日(土)	8
泉区中央市民センター	11月25日(日)	29

○ジュニアリーダー中級研修会

＜生涯学習支援センター＞（共催：仙台市嘱託社会教育主事研究協議会）

地域の子ども会活動の活性化と、青少年のボランティア活動を積極的に推進するための研修を行った。

対象者は、「初級研修会を修了し、引き続きジュニアリーダーとして活動を行っている中学生及び高校生」で、かつ、「活動拠点となる市民センターの推薦を受けた者」とした。

本研修会は、ジュニアリーダーとして必要となるより専門的な知識と技術の習得を中心とした内容で実施した。

○43名受講 8月4日(土)、5日(日) 会場：生涯学習支援センター

研修内容「今、ジュニアリーダーに必要なものとは?」、「要請の受け方」、「子どもを引き付けるコツとは?」、「要請のプログラムを作成しよう」、「要請のプログラムを実践しよう」

○ジュニアリーダー上級研修会

＜生涯学習支援センター＞（共催：仙台市嘱託社会教育主事研究協議会）

青少年のボランティア活動と地域の子ども会活動の一層の振興を図るために、仙台市ジュニアリーダー全体をまとめ、リードする立場にある高校生ジュニアリーダーの資質向上と技能の研鑽のための研修を行った。

対象者は、「中級研修会を修了し、引き続きジュニアリーダーとして活動している高校生または高校生の年齢に相当する者」、かつ、「活動実績・資質ともに上級リーダーとして適格であり、活動拠点となる市民センターの推薦を受けた者」とした。

本研修会は、ジュニアリーダー活動のスキルアップを中心とした内容で実施した。

○25名受講 7月28日(土)、29日(日) 会場：オーエンス泉岳自然ふれあい館

研修内容：「リーダーとしての役割と心構え」、「よりよいサークル運営」、「地域の一員としてのジュニアリーダー」、「自己の生き方」、「野外炊事」

○ジュニアリーダー実践研修会

＜生涯学習支援センター＞（共催：仙台市嘱託社会教育主事研究協議会）

上級研修会の伝達研修の場として、上級認定者が講師となり、未認定者に対して野外炊事やゲーム等のスキルアップを図った。併せて、5区のジュニアリーダーが交流を深め、

幅広い視野や責任感を持って地域で活動できるリーダーとしての資質向上・技術向上のための研修も行った。

対象は、各地区館が支援するジュニアリーダーサークルに所属している全ジュニアリーダーとし、単位等を認定する研修会ではないことから、部分的な参加も認めた。

24名受講 9月15日(土)、9月16日(日) 会場：オーエンス泉岳自然ふれあい館

研修内容：「p4c 研修」、「ダンス研修」、「キャンプファイヤー」、「野外炊事」

【ジュニアリーダーサークル及び活動拠点館一覧】(平成31年3月現在)

区内連絡会	No	サークル名	登録数	活動拠点館名
青葉区 (116名) 連絡会『星のすなごけい』 (青葉区中央市民センター)	1	MRVC くまっこ	41	広瀬市民センター
	2	かめ吉	16	福沢市民センター
	3	朝実巣あかよぼく	18	北山市民センター
	4	Colors	4	旭ヶ丘市民センター
	5	SKY	24	中山市民センター
	6	みずの森ーダー' S	3	水の森市民センター
	7	Blue Leaf Spirits	10	青葉区中央市民センター
宮城野区 (51名) 連絡会『Lovers』 (宮城野区中央市民センター)	1	高砂フレンズクラブ	8	高砂市民センター
	2	岩切ガンキリーズ	9	岩切市民センター
	3	鶴ヶ谷 Yourself	2	鶴ヶ谷市民センター
	4	幸町 Fortune	5	幸町市民センター
	5	With Us 宮城野	27	宮城野区中央市民センター
若林区 (57名) 連絡会『田んぼっ区』 (若林区中央市民センター)	1	郷郷七郷	11	七郷市民センター
	2	六郷村	5	六郷市民センター
	3	ビ野沖ヲ	3	沖野市民センター
	4	JARO	16	若林区中央市民センター
	5	ワンマイル荒町	11	荒町市民センター
	6	若林にゃくりん	11	若林市民センター
太白区 (50名) 連絡会『ANON』 (太白区中央市民センター)	1	なかだかな	9	中田市民センター
	2	おいでください	0	生出市民センター
	3	ジュニアリーダーサークル Green Powers	0	秋保市民センター
	4	にしたがつつまん	14	西多賀市民センター
	5	ながまっくる	24	太白区中央市民センター
	6	moni-s ※平成28年度末に発足	3	茂庭台市民センター
泉区 (126名) 連絡会『ざわざわ森』 (泉区中央市民センター)	1	黒松ファミリー	3	黒松市民センター
	2	南光台アドバルーン	19	南光台市民センター
	3	もみの木カリヨン	1	根白石市民センター
	4	向陽台ばびふべパレット	0	松陵市民センター
	5	将監くれよん	23	桂市民センター
	6	南中山菓子つぶ	16	南中山市民センター
	7	高森流星サークル	5	高森市民センター
	8	寺岡流星サークル	9	寺岡市民センター
	9	七北田 JL サークルありす	25	泉区中央市民センター
	10	みちのく松陵	7	松陵市民センター
	11	加茂プレゼント	8	加茂市民センター
	12	パズル鶴が丘	2	松森市民センター
	13	根住 s	8	根白石市民センター
市全体 (400名 / 34サークル) 仙台市連絡会『ずんだ』(生涯学習支援センター)				

5 地域社会教育推進

(1) 学びのコミュニティづくり推進事業

<生涯学習支援センター>

地域の共有財産である学校や市民センターなどを核として、町内会や老人クラブなどの従来の地縁的な関係に「学習」「趣味」「企業」「NPO」「ボランティア」などの縁を加え、様々なネットワークを緩やかにつなぐことによって、子どものすこやかな育ちを支援する多様な人間関係を地域に育て、学校・家庭・地域社会がそれぞれ持つ教育機能を相乗的に発揮させることを目指している。

平成13年度に事業を開始。平成30年度は、事業委託した5団体と3年の委託期間が終了した後も自主的に活動を継続している28団体と合わせて計33団体が活動した。

区 分	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
委託団体数（うち新規委託団体数）	8(4)	8(2)	7(1)	5(3)
委託期間終了後の活動継続団体数	24	25	27	28
合計	32	33	34	33

《平成30年度の委託団体》5団体

団体名	区	学校区	ねらい・概要	委託状況
東仙台小学校学区学コミ推進委員会	宮城野	東仙台小	東仙台小学校区内の子どもたちを核として、同地域内の各種団体が連携して諸活動を行っていくことにより、子どもたちの豊かな体験と健やかな育ち並びに地域のネットワークづくりを目指す。子どものあそび大会、学校でデイキャンプをしよう、などの事業を実施。	新規
幸町小おやじの会	宮城野	幸町小	小学校、父母教師会、学校支援地域本部、おやじの会により構成され、「子どもたちの思い出づくり」という目的の実現のため、学校に泊まろう、みちのく雪あそびツアー、を開催。	〃
大和学びのコミュニティづくり推進委員会	若林	大和小	ともに地域の行事を一緒に行っている4団体が、地域の子どもたちに新しい体験の場を設けたいという共通した考えのもと、学校に泊まろう会を実施。	〃
八木山おやじの会	太白	八木山小	小学校、PTA、おやじの会が連携し、児童参加の行事を開催することにより子どもとのつながりを強め、参加する全ての人の喜び・楽しみを達成し、地域全体で子どもの安全を見守る事を目的として、お泊まり会や餅つき大会を実施。	2年目
田子っこ学びのコミュニティ推進委員会	宮城野	田子小	田子小学校おやじの会が中心となり、野外活動、昔遊び体験、防災訓練を兼ねた夜の校内探検などを通じて、健やかな育ちへの支援と多様性あるコミュニティづくりを目指した事業を行った。	3年目

《委託終了後も自主的に活動を行っている団体》 28 団体

No.	団体名	区	学校区	委託終了年度
1	まちがっこ推進委員会	青葉区	東二番丁小	平成 15
2	榴岡かいわい学びのコミュニティ推進委員会	宮城野区	東華中 宮城野中	〃
3	ながまち学びネット推進委員会	太白区	長町中	〃
4	ふれあい学びネットい・ず・み推進委員会	泉区	七北田中	平成 16
5	松陵っ子，土っと来い！	泉区	泉松陵小	〃
6	かみすぎねっと	青葉区	上杉山通小	平成 18
7	作並学びのコミュニティ推進事業実行委員会	青葉区	作並小	〃
8	パパネット南小泉推進委員会	若林区	南小泉小	平成 19
9	まなこみネット鶴が森 II	泉区	鶴が丘中	平成 21
10	将監こども楽校推進委員会	泉区	将監小	平成 22
11	旭ヶ丘わんぱく森 ² がっこ推進委員会	青葉区	旭丘小	平成 23
12	上愛子学びのコミュニティづくり推進委員会	青葉区	上愛子小	〃
13	「西山っ子ニコニコ楽校」	宮城野区	西山小	〃
14	通学合宿連坊実行委員会	若林区	連坊小路小	〃
15	まなびネット「いずみ中山」	泉区	南中山中	〃
16	五城学区地域連携教育推進委員会	青葉区	五城中	平成 24
17	福室学びのコミュニティづくり推進委員会	宮城野区	福室小	〃
18	「がんばれ秋保っ子」推進委員会	太白区	秋保中	〃
19	カモンレインボープラン推進委員会	泉区	加茂中	〃
20	おいで里ネット	太白区	生出中	平成 25
21	川平学びのミュージアム	青葉区	川平小	平成 26
22	袋原中学校区学びのコミュニティ推進委員会	太白区	袋原中	平成 27
23	ロングライフヒルコミュニティ協議会	泉区	長命ヶ丘中	〃
24	山ガキ隊わくわく学校推進委員会	太白区	山田中	平成 28
25	森の応援団 愛子ハグリッズ	青葉区	愛子小 錦丘小	平成 29
26	楽コミ金剛沢おやじっ子推進委員会	太白区	金剛沢小	〃
27	坪沼スポーツ振興会	太白区	生出小学校 区の一部	〃
28	未来っこ桂	泉	桂小	〃

(2) 学びのコミュニティづくり推進事業支援等

「学びのコミュニティづくり推進事業」の委託団体及び、3年間の委託期間終了後も自主的に事業を実施している団体に対して、活動支援を行った。

○実施団体連絡会

＜生涯学習支援センター＞

委託期間が終了した後も自立した活動を行っている 28 団体を含め、事業実施団体連絡会による研修会を開催し、団体相互の情報共有を図った。

開催日時	内 容	受講者
2.23(土) 14:30～16:30	事例発表「楽コミ金剛沢おやじっ子推進委員会」 楽コミ金剛沢おやじっ子推進委員会事務局長 中村 達 氏 講話「助成金及びネットワークづくり等について」 (特活)杜の伝言版ゆるる代表理事 大久保朝江 氏 情報交換	18

【委託終了後の事業に対する継続的支援等】

館名・事業名	概要	実施回数	延参加者
青葉区中央市民センター			
まちがっこ (No.1)	東二番丁小学校・幼稚園をはじめ、青葉区中央市民センター周辺の関係団体等との連携により、子どもの健やかな育ちに資する事業を実施した。 ・5月,10月 花のあるまちづくり ・7月 だるまこ遊び	2 1	
かみすぎねつと (No.6)	上杉山通小学校区の学校関係団体・地域団体等との連携により、子どもの健やかな育ちに資する事業を実施した。 ・6月16日 上杉地区大運動会 ・7月28日～29日 Gakkouへ泊まろう ・8月18日 上杉地区夏まつり ・9月11日 世界の音楽～馬頭琴～ ・9月22日 おもしろ子ども会 ほか	1 1 1 1 1	
旭ヶ丘わんぱく森 ² がっこ (No.11)	旭丘小学区の学校関係団体・地域団体等との連携により、子どもの健やかな育ちに資する事業を実施した。 ・5月地域教育協議会 ほか	1	
川平学びのミュージアム (No.21)	川平小学校区の学校関係団体・地域団体との連携により、子どもの健やかな育ちに資する事業を実施した。 ・4月28日,9月2日,11月17日 白菜ミュージアム ・7月14日～15日 親子ふれあいワクワクキャンプ ・10月20日 川平フェスタ	3 1 1	
宮城野区中央市民センター			
榴岡かいわい学びのコミュニティづくり推進事業 (No.2)	仙台駅東口かいわいの幼児、小学生を対象として遊びの広場を提供した。また、地域の住民や中学生、ボランティア等の参加も促し、異世代間の交流を図った。 ・8月25日第18回つつじがおかワイワイ夏まつり ・1月19日第12回つつじがおかワイワイ冬まつり	9	990
若林区中央市民センター			
南小泉子どものふるさとづくり推進事業 (No.8)	学びのコミュニティづくり推進事業で立ち上げた「南小泉パパネット」が南小泉小学校の児童や保護者を対象に実施する事業への支援を行った。 ・7月28日 なつなつ南小 ・9月23日 あきあき南小 ・1月19日 ふゆふゆ南小	3	240
区内小学校合宿等支援 (No.14)	学びのコミュニティづくり推進事業から続く「通学合宿！連坊！」など区内小学校の合宿等の事業を支援した。 ・8月18日 荒町ホップステップキャンプ2018(荒町小) ・10月3～5日 通学合宿！連坊！（連坊小路小）	2	180
若林小あそび場支援	若林小学校を中心に放課後の児童に小さな冒険を秘めた遊びの場をつくる「若林小あそび場」の活動（概ね月1回開催）を、関係団体、若林児童館、若林市民センター、ボランティアとともに支援した。	11	710

(3) 地域情報発信サポ-

太白区中央市民センター				
がんばれ秋保っ子 (No.18)	秋保中学校区の各団体と協力して事業を実施することで地域全体で子どもを育てていくきっかけをつかった。 ・10月14日 秋の大運動会 (参加者 小中学生 52名) ・1月12日 秋保カルタ大会 (参加者 75名) ・秋保地区地域活動のつどい ・秋保地区行事カレンダー作成	3	127	
ながまち学びネット (No.3)	長町中学校区 (長町小・長町南小・鹿野小学校区) 内児童・生徒や保護者、地域住民とともに、子どもたちの健全育成を目的とした参加体験型の活動を行うなど、地域コミュニティと連携しながら地域づくり活動を展開した。 ・7月21日 こども防災キャンプ (参加児童 31名)	7	139	
泉区中央市民センター				
区内学コミ連絡会	区内で活動している各学コミ委員会と情報を共有し、学コミの活動の促進ならびに拡大を図った。 ・6月9日 第1回連絡会 (年間計画, 情報交換)	1	20	
ふれあい学びネットい・ず・み推進委員会 (No.4)	七北田中学校区内の諸団体が連携し、青少年健全育成事業の展開を図るとともに、子どもの居場所づくり事業について協議、企画、実施した。 ・7月7日 七小ゆめフェスティバル ・8月3日～8月4日 キャンプだホイ!2018 in 七北田 ・11月17日 市小カーニバル ・2月17日 あそびの天国 2019	11	187	
		1	268	
		1	193	
		1	520	
		1	306	

ター養成・活動支援

<生涯学習支援センター>

○地域情報発信サポーター講座

地域情報発信サポーターのスキルアップと同サポーターを養成するための講座「地域情報発信サポーター養成講座」を実施した。

回	開催日	概要	要	受講者
1	1月12日(土) 10:00~11:30	◎「地域の情報アレやコレ!」[地域の(生涯学習)情報を知る] 講師 生涯学習支援センター社会教育主事, 仙台ひと・まち交流財団職員, 仙台おもしろ発見隊隊員		13
2	1月26日(土) 10:00~11:30	◎「伝える“写真”のチカラ!」 [身近な地域の“魅力”のを見つけ方①] 講師 風の時編集部 代表 佐藤正実 氏		11
3	2月9日(土) 10:00~11:30	◎「伝える“ニュース”のチカラ!」 [身近な地域の“魅力”のを見つけ方②] 講師 TOHOKU360 編集長 安藤歩美 氏		14
4	2月16日(土) 10:00~11:30	◎「地域の魅力発信!写真を撮って伝えよう!」 講師 若林区中央市民センター 企画調整係長 沼田智幸 氏		8

○地域情報発信サポーター活動支援

平成28年度地域情報発信サポーター養成講座の修了者が自主サークル「仙台おもしろ発見隊」として活動を継続, 11回(延19名)の活動を行い, リフレット「地域のなかまたち」第4号を作成した。今後も円滑な活動により効果的な情報発信が行われるよう, 支援を行っていく。

6 学習情報提供

(1) 学習情報レファレンスシステム・市民センターホームページの運営

<生涯学習支援センター>

市民の学習意欲に応え、的確な情報提供サービスを展開することで、効果的に市民の学習活動を支援するため、生涯学習支援センターと市民センターをインターネット回線で結び、生涯学習に関するより新しい情報を提供するとともに、市民の学習相談に応じることを目的として平成12年3月より運営している。

平成26年11月にシステム機器を更新し、新たな「市民センターホームページ」と「学習情報データベース」の運用を開始した。新たなホームページでは、各市民センターの情報を統合して表示したり、講座の開催日を検索しやすくするなどの手法により、市民により分かりやすいページ構成とした。また、スマートフォン・タブレット等でも閲覧可能となっている。

市民センターホームページの URL <http://www.sendai-shimincenter.jp/>

【仙台市学習情報レファレンスシステム登録情報数】

情報種類	令和元年7月現在
団体・サークル情報	2,703
人材・講師	10,668
事業	5,529
合計	18,900



QRコード

【平成30年度 市民センターホームページアクセス件数】

閲覧ページ数	812,742	一日あたりの閲覧数	2,227
概算訪問者数	592,898	一日あたりの訪問者数	1,624



(2) 市民センター事業ガイド

<生涯学習支援センター>

講座等参加者の募集中、募集予定がある事業について、区ごとにまとめ、毎月1回発行して、市民への情報提供を行った。市民センターホームページでも公開している。

(3) 「学都仙台サテライトキャンパス」支援等

<生涯学習支援センター>

大学等の高等教育機関の連携組織である「学都仙台コンソーシアム」（平成18年設立）のうち「サテライトキャンパス部会」で実施する公開講座「学都仙台サテライトキャンパス」（15 高等教育機関で60 講座実施，2,242 名受講）や部会構成校が独自に実施する市民向け公開講座について、市民が円滑に講座を受講できるよう、広報及び情報提供等の支援を行った。

市政だより：5月号，6月号，8月号，9月号，10月号，11月号，12月号，1月号

(4) その他の学習情報提供事業

○学習情報提供システム操作研修

<生涯学習支援センター>

市民センター職員を対象に、市民センターで開催する講座の案内情報を学習情報データベースに登録し、その後 CMS でホームページの記事を作成して公開することが支障なくできるよう、学習情報システムの操作研修を開催した。

受講対象	概 要	受講者
市民センター職員	5/17 ①9:30～12:30 ②14:00～17:00 5/18 ③9:30～12:30 ④14:00～17:00 ◎学習情報システム (CMS・データベース) の操作研修 講師 (株)インターネットイニシアティブ 村井 祐介 氏	55

○若林区の映像保存・活用事業

<若林区中央市民センター>

実施日等	概要
通年	震災からの復興への取り組みや豊かな地域資源、史跡・旧跡の残る街並みなど区内の様子をボランティアが撮影し、市政だよりの若林区のお知らせのページに「若林の点描」として掲載したほか、これらの写真のパネル展示を区役所などで開催した。また、若林区総務課が発行している「若林区ガイド」の作成にあたり、掲載する写真の一部を提供した。

7 各区中央市民センター事業

(1) 嘱託社会教育主事研究協議会区部会との共催事業

嘱託社会教育主事（社会教育主事資格を持ち学校に在籍している教員）研究協議会の各区部会と各区中央市民センターの共催による事業を通して、子ども達の健全育成や地域コミュニティの活性化を図り、地域で子どもを育てる環境づくりを推進した。

館名	内容	実施回数	参加者
青葉区中央市民センター	6月27日 青葉区社会教育推進連絡会研修会 7月1日 ジュニアリーダー初級研修会 9月2日 子ども会対象事業 「青葉チャレンジキッズ in 科学館」 10月21日 親子対象事業 「青葉チャレンジキッズ in 博物館」	4	458
宮城野区中央市民センター	6月28日 宮城野区社会教育推進連絡会研修会 7月14日 「七北田川でEボートに乗ろう」 7月29日 宮城野区ジュニアリーダー初級研修会・交流会 12月15日 インリーダー研修会事前打合せ会 2月 インリーダー研修会	13	約600
若林区中央市民センター	8月23日 若林区地域学校連携推進会議 11月23日 ものづくり体験教室（クッキーづくり，農家レストラン料理，生け花づくり，缶バッジづくり，革細工づくり） 12月9日 ジュニアリーダー初級研修会 1月12日 インリーダー研修会事前打合せ兼研修会 2月2, 9, 16日 インリーダー研修会	9	約500
太白区中央市民センター	6月26日 第1回太白区内地域連携ネットワーク会議 7月7日 ジュニアリーダー初級研修会 6月～1月 太白区内地域連携ネットワーク事業各地区ごと17事業を実施 10月21日 長町秋のフェスティバル（協力事業） 12月8日 インリーダー研修会事前打合せ会 1月～2月 インリーダー研修会（各市民センター） 1月31日 第2回太白区内地域連携ネットワーク会議	160	約8,000
泉区中央市民センター	5月～2月 泉区の社会教育を考える会（6回） 6月28日 泉区地域と学校をつなぐ研修会 8月1日 親子で満喫！モーモーツアー（協力事業） 11月25日 泉区ジュニアリーダー初級研修会 12月8日 第12回みんなでジャンプ 7月～2月 インリーダー研修会（29回中20回）	30	約2,000

(2) インリーダー研修会

子ども会活動の充実を図るため、子ども会のリーダーとして活躍する児童及び世話人を対象に、子ども会活動についての知識やレクリエーションなどの実技を学習するための研修会を実施した。

【平成 30 年度実績】

区	開催回数	延受講者
青葉区	9	455
宮城野区	9	402
若林区	6	306
太白区	11	594
泉区	29	1,134
合 計	64	2,891

(3) 学習成果社会還元事例研究

◎事業例 まなびごっこ

＜若林区中央市民センター＞（118 回実施 延参加者：1,670 名）

若林区内で活動する生涯学習指導者ボランティアグループ「まなびごっこ」がこれまでに培った知識や技術を生かして、当センターと共催で誰でも参加しやすい内容の講座・教室（男の料理教室、女性のための囲碁教室、映画上映会など 12 種類）を開催した。

(4) 生涯学習研究事業

◎事業例 泉区の社会教育を考える会

＜泉区中央市民センター＞（事業検討 6 回実施 延参加者：114 名）

区内の社会教育について、区内囑託社会教育主事と協働し、既存の事業の見直しや、新たな事業方法の研究開発を行った。また、その事業を実施検証し、社会教育事業の新たな展開の可能性を探り、泉区の社会教育事業について活性化を図った。

(5) その他の主な事業

館名	事業名	内容	開催回数	参加者
青葉区 中央市民 センター	子どものための 日本語講座	日本語を母語としない小学生、中学生に日本語を学習する機会を提供し、充実した学校生活を送れるように支援している。	34	476
	せんだい日本語 講座	在仙の外国人等に、日常生活に必要な日本語習得の機会を提供するとともに、日本の伝統文化に触れ交流する場を設定することで、国際交流や多文化理解を促進している。	673	7,298
宮城野区 中央市民 センター	宮城野カルタ	郷土愛に満ち、多くの世代が交流できる「宮城野かるた」の制作を行った。カルタに関することを学びながら、3 月には、「カルタお披露目会」を行った。	3	83
若林区 中央市民 センター	家庭教育講座	未就学児の保護者、子育てに関心のある方を対象に「子育てにおける子どものかかわり方」をテーマに宮城県生涯学習課の協力を受け、ワークショップ宮城県版親の学びのプログラム「～十人十色の子育て&親育ち～親のみちしるべ～」を活用して実施した。	2	25

	六郷・七郷を訪ねる会	震災の記憶をとどめるとともに復興を支援するきっかけとしてもらうため、六郷・七郷地域を市民がバスで巡り、地域の状況を見聞きする機会を設けた。	1	37
	バリアフリースポーツ「ボッチャ」普及事業	年齢・性別・障害の有無に関わらず楽しめるスポーツ「ボッチャ」を体験できる場として、月1回の定例会及び年1回の大会を開催した。	12	280
	「ボッチャ」とおした区民地域交流促進事業	障害の有無や体力・体格差などに関係なく一緒に実践できるスポーツ「ボッチャ」を活用し、地域間交流や世代間交流を図ることを目指し、区内市民センターと連携して「ボッチャ」を活用した講座の開催のほか、地域への出前講座として「ボッチャ交流会」を開催した。	8	193
太白区中央市民センター	長町・あすと長町地域活性化事業	地域振興団体が実施するイベントの企画運営等の支援を行った。長町秋のフェスティバルと題して「食」・「スポーツ」・「芸術」をキーワードに『なわとび・綱引き大会』『みんな de スポフェス』『親子フェス』『スポチャレ』を行った。	1	13,805
泉区中央市民センター	団体長縄跳び競争「第12回みんなでジャンプ！シェルコム大会」	区内の小学生を対象に、冬場の体力づくりと地域間交流、世代間交流を図る目的で長縄跳び大会を開催した。	1	444

8 仙台市公民館運営審議会

社会教育法第29条、仙台市市民センター条例第13条に基づき、市民センターにおける各種の事業の企画実施につき調査審議を行う、本市が設置するすべての市民センターに共通の公民館運営審議会として設置している。

現委員は15人で、任期は平成29年11月1日から令和元年10月31日までの2年間となっている。

【委員名簿】 [平成31年4月1日現在]

氏名	職業または所属団体
相澤 雅子	仙台市立南小泉中学校学校支援地域本部 スーパーバイザー
市瀬 智紀	宮城教育大学教員キャリア研究機構 教授
幾世橋 広子	仙台市社会学級研究会 顧問
黒澤 陽子	仙台ワーキングマザーの会 代表
○ 小岩 孝子	NPO 法人 FOR YOU にこにこの家 理事長
小地沢 将之	宮城大学事業構想学群 准教授
◎ 佐藤 直由	東北文化学園大学医療福祉学部 教授
佐藤 由美	仙台市立台原小学校 校長
庄子 清史	公募委員
菅澤 彩香	公募委員
傅野 貞雄	仙台市連合町内会長会 庶務理事（令和元年6月～会長）
中山 聖子	キャリア教育コーディネーター
松田 道雄	尚綱学院大学 教授
吉田 祐也	学校法人尚綱学院 職員 日本ファンドレイジング協会東北チャプター運営委員
渡辺 博	仙台市議会 議員

◎：会長 ○：副会長 敬称略・50音順

【近年の審議内容(平成15年度～平成30年度)】

提出日	種別	テーマ(題名)	主な内容
平成15年 10月7日	提言	市民センターにおける子どもの事業のあり方について	1 審議会における検討の過程 2 子どもの事業に取り組む課題と視点 3 ジュニアリーダーの育成と活動支援 4 学社連携・融合事業について 5 学校週5日制に対応した事業について
平成17年 9月12日	提言	市民センターにおける市民参加と市民協働の推進について	1 市民参加と市民協働の課題 2 市民センター運営における市民参加について 3 市民企画委員によるプログラムづくりについて 4 市民参加を広げる事業活動をめざして
平成19年 10月30日	答申	市民センターの施設理念と運営方針の見直しについて	1 見直しの背景 2 見直しにあたっての考え方 3 市民センターの施設理念と運営方針

提出日	種別	テーマ(題名)	主な内容
平成 21 年 10 月 13 日	報告	審議の経過報告	1 今期審議会のテーマ設定と議論の経緯について 2 経過報告のまとめについて ＜これまでの審議内容(各委員の意見)の概要＞ 1 市民センターの区への移管について 2 連携事業の調査からみえてきたもの ＜市民センターが大切にしてきた社会教育の価値とは＞(梨本雄太郎委員) ＜区行政との「融合」をめぐる＞(石井山竜平委員)
平成 22 年 3 月 16 日	意見	「次期行財政改革計画(素案)」に対する意見書	区役所への移管については課題や懸念があることから、それらを解決・解消した上で判断するべきと考える。
平成 22 年 8 月 31 日	提案	市民センターを拠点とした新しいまちづくりの提案 —仙台プラン—	＜市民センターを拠点とした新しいまちづくり＞ 1 意識を変える 2 人材発掘・育成とネットワーク化 3 市民の活動の場を生み出し支援する ＜新しいまちづくりに向けた市民センターの新たな一歩/今後の取り組み[提案] / 仙台プラン対応事業案＞ 1 住民参画・問題解決型学習事業 2 子ども参画型社会創造事業 3 学社連携・既存の事業範囲枠を超えた公共施設の連携事業
平成 23 年 1 月 25 日	意見	「市民センターを活かした地域づくりの推進」に関する意見	1 検討の進め方について 2 組織見直しをめぐる課題について
平成 25 年 5 月 31 日	答申	仙台市市民センター事業の評価のあり方について	1 これまでの経緯 2 評価の現状と基本的な考え方 3 本審議会が実施する外部評価 4 本審議会以外が実施する外部評価 5 まとめ
平成 25 年 10 月 26 日	報告	平成 24 年度仙台市市民センター事業評価報告書	1 評価の目的 2 評価の実施 3 評価の結果 4 まとめ
平成 25 年 10 月 26 日	意見	仙台市市民センターの施設理念と運営方針の見直しに関する意見について	1 「仙台市市民センターの施設理念」について 2 「仙台市市民センター事業の運営方針」について 3 「仙台市市民センターの施設管理の運営方針」について 4 東日本大震災を踏まえた内容の見直しについて 5 その他
平成 26 年 7 月 31 日	報告	平成 25 年度仙台市市民センター事業評価報告書	1 評価の目的 2 評価の実施 3 評価の結果 4 まとめ
平成 27 年 8 月 25 日	報告	平成 26 年度仙台市市民センター事業評価報告書	1 評価の目的 2 評価の実施 3 評価の結果 4 まとめ
平成 27 年 10 月 17 日	意見	震災を踏まえた今後の市民センター事業のあり方等について	1 震災後の取り組みの成果と課題 2 今後の市民センター事業に関する委員の意見
平成 29 年 3 月 23 日	報告	仙台市市民センター事業評価報告書	1 評価の目的 2 評価の実施 3 評価の結果
平成 29 年 10 月 23 日	意見	仙台市市民センター事業評価に関する意見について	1 事業評価について 2 事業運営懇話会等について

提出日	種別	テーマ(題名)	主な内容
平成30年 11月8日	報告	仙台市市民センター事業評価報告	1 評価の目的 2 評価の実施 3 評価の結果
令和元年 7月4日	答申	「仙台市市民センターの施設理念と運営方針」の見直し(第二次)のあり方について	<見直しのあり方に関する意見> 1 拠点館の役割の再検討及び記載の明確化について 2 「震災を踏まえた市民センターの役割と取組」の記載事項の内容・構成の再検討 3 「仙台市市民センターの施設管理の運営方針」の記載事項の内容・構成の再検討 4 全体、他の項目への意見等

【審議経過】

開催日	会議種別	協議議題
平成29年 11月9日(木)	定例会	○委嘱状交付式 ○会長、副会長選出 諮問：○「仙台市市民センターの施設理念と運営方針」の見直し(第二次)のあり方について 協議：(1)会議の公開、非公開について (2)議事録及び署名人について (3)公民館運営審議会定例会の進め方について
平成30年 1月18日(木)	定例会	協議：○仙台市公民館運営審議会の日程について 報告：○仙台市市民センターの拠点館事業について
3月15日(木)	定例会	報告：○平成30年度からの市民センター指定管理者について ○公運審意見等の反映について 協議：(1)「施設理念と運営方針」の見直しの基本的方向について (2)評価対象事業について
5月17日(木)	定例会	協議：○事業評価について
6月6日(水) 6月29日(金) 7月4日(水) 7月6日(金)	臨時会	○事業視察 6/6, 7/4 学びのまち・仙台 市民カレッジ事業 6/29, 7/6 学びを支える人材育成推進事業
8月30日(木)	定例会	協議：○事業評価について ○事業評価報告(案)について ○今後の進め方について
11月8日(木)	定例会	協議：○事業評価報告(案)について ○「施設理念と運営方針」の見直しについて
平成31年 1月17日(木)	定例会	協議：○「仙台市市民センターの施設理念と運営方針」の見直しについて
3月28日(木)	定例会	協議：○「仙台市市民センターの施設理念と運営方針」の見直しについて
令和元年 5月16日(木)	定例会	協議：○「仙台市市民センターの施設理念と運営方針」の見直しのあり方(答申案)について
7月4日(木)	定例会	答申：○「仙台市市民センターの施設理念と運営方針」の見直し(第二次)のあり方について 協議：○「仙台市市民センターの施設理念と運営方針」の見直しについて
8月29日(木)	定例会	報告：○「仙台市市民センターの施設理念と運営方針」の改定について